

草津市協働のまちづくり推進計画 令和3年度取組実績および令和4年度予定【中間支援組織】

資料4

※担当表記 事業団…草津市コミュニティ事業団、社協…草津市社会福祉協議会

推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当	令和3年度		令和4年度		事業評価 (1~5)	項目評価 (A~E)
					決算額	取組実績	予算額	取組予定		
A 市民公益活動団体等の 交流促進事業の展開	①	市民公益活動団体の交流の場の提供	市民公益活動団体同士の交流の促進を図り、新たな活動や取組につなげる。また、活動紹介を行うことで、市民の理解を促し、市民活動の裾野を広げる。	事業団	0千円	キラリエ5階の協働ひろばの運営を市と協働で行った。また、市が実施する「ラウンドテーブル」に企画から運営まで携わり、将来の事業団による実施を見据えて運営をサポートした。	0千円	キラリエ5階の協働ひろばの運営を継続するとともに、空間デザイン事業に参画し、市民活動団体の交流が深まる場づくりを行う。	3	B
	②	地域サロン交流会の実施 ボランティアフェスティバルの実施		社協	213千円	・スマホの使い方講座についての情報提供等を行い、高齢者の新しい生活習慣につながるサロン交流会を実施した。 参加者39人 ・ボランティアフェスティバルの実施 参加者65人	0千円	・コロナ禍に対応したサロン活動の紹介等、多くのサロン代表者に来てもらえるよう内容を検討し、充実させる。 ・ボランティアフェスティバルで培った繋がりを継続させていく事業について検討する。	4	
B まちづくり情報の収集・ 発信	①	ホームページ、SNS、ラジオ等を活用した情報の発信	市内のまちづくり活動や実務に役立つ情報等をホームページやSNS等を活用し、広く市民に発信することで、市民活動の活性化を図る。	事業団	2,565千円	複数あったホームページを統一し、わかりやすい情報発信に取り組んだ。また、えふえむ草津と連携し、ラジオ番組「くさつコミュニ Tea Time」へ市民活動団体や地域まちづくり協議会に出演いただき、新たなメディアも活用した重層的な情報発信を行った。 ・えふえむ草津「くさつコミュニTeaTime」出演 16団体 ・えふえむ草津「KUSATSU FRONT LINE」出演 12団体 ・SNSによる情報発信 34件 ・サイトリニューアル・保守	2,176千円	市民活動団体情報の冊子発行を令和3年度で終了し、HPのみで発信することから、サイト内の市民活動団体の検索機能の精度を高めるため、データベースのリニューアルを行う。 また、えふえむ草津への市民活動団体の出演数を20団体以上とする。	4	B
	②	社協HPによる情報発信		社協	275千円	ホームページによる情報を発信することによって、広報紙には載せ切れない細やかな情報を発信することができた。 ・アクセス数…66,066件	290千円	全面的にリニューアルすることで、誰でも見やすく、分かりやすいホームページをつくる。	3	
	③	まちづくり情報誌の発行		事業団	2,063千円	市内のまちづくり情報を広く市民に周知するため、情報誌「コミュニティくさつ」を発行した。また、令和3年度から、市内各地域の取り組みや魅力を地域住民に伝えるため、地域まちづくり協議会と協働し「コミュニティくさつ」(地域版)の作成発行を開始した。 ・発行ノ市域版2回・地域版 1回(大路区)作成ノ地域版1回(矢倉) ・市域版への読者感想 121件(平均60.5件) ・合冊版発行	2,477千円	引き続き「コミュニティくさつ」および「コミュニティくさつ」(地域版)の発行を行う。 ・発行ノ市域版2回・地域版2回 ・合冊版発行なし(R5年度に予定)	4	
	④	市民公益活動団体情報冊子の発行		事業団	215千円	中間支援組織として基幹情報となる市内の市民公益活動団体情報の把握に加え、団体間のネットワークづくりやまちづくりに携わる人材の裾野の拡大を目的に、団体調査を行い、得られた基礎情報を冊子とホームページにて公開した。 ・情報公開団体数 271団体	110千円	令和4年度からホームページのみによる情報発信に変更する。市民活動団体の情報を検索しやすくするとともに、情報提供団体に対してはニュースレターを発行するなど、新たな付加価値を提示することで掲載団体を増やす。 ・ホームページのみの情報公開 ・情報提供団体にニュースレター発行 ・えふえむ草津と連携し、ホームページ掲載団体によるラジオでの情報発信	4	
	⑤	社協くさつの発行		社協	1,957千円	広報紙の発行により情報を発信した。また、様々な悩みを抱えた人や生活に困窮している人に向けて相談の受付や食料支援等の発信ができ、支援につながることができた。 ・年4回発行	1,980千円	市内14学区のマップ表記を取り入れて地域の取組を紹介したり、活動者のインタビューを多く取り入れたりする等、地域活動の見せ方を工夫し、発行する。 ・年4回発行	3	
	⑥	ボランティアグループ・地域サロンリストの発行		社協	24千円	ボランティア・地域サロングループリスト、出前ボランティア一覧を作成し、活動の紹介に活用した。 ・ボランティア・地域サロングループリスト 126部作成 ・出前ボランティア一覧 320部作成	36千円	リストの発行時期が毎年9月となっているため、出来るだけ早い時期の発行に努める。 ・ボランティア・地域サロングループリスト作成 ・出前ボランティア一覧作成	3	
C 相談・コンサルティングの 実施	①	まちづくり活動相談とコーディネート 地域のまちづくりに関する支援(地域まちづくり計画、活動相談等)	相談対応やコーディネートを行うことで、まちづくり活動やボランティア活動に関する課題を解決する。また、他団体や人材とのコーディネートを行うことで、新たな活動に繋げる。	事業団	61千円	○市民活動団体やボランティア希望者からの相談に対応し、必要に応じて他団体や専門機関等へのコーディネートを行った。キラリエ移転に伴い、他の入居団体とも連携し、これまで以上に幅広い相談や要望に対応できた。 ・相談対応件数 352件 ○地域まちづくり協議会等のまちづくり相談に対応し、必要に応じて専門家とのコーディネートを行った。また依頼のあったまちづくり協議会に対しては、職員を派遣し、講師やアドバイザー等のサポート業務を行った。 また、全14学区のまちづくり協議会を訪問し、課題等について事務局長と意見交換を行った。 ・地域まちづくり協議会ホームページ等の情報発信サポート ・業務協力およびサポート ・地域と学生サークルとのコーディネート	96千円	○外部研修への参加等により職員のスキルアップを図る。また、相談の多い活動資金の確保に対応する事業の立ち上げを行う。 ・(新)NPOファンドレイジング事業 ・県内中間支援センターとの情報共有・研修 ○地域まちづくり協議会に対し、好事例の紹介事業や研修を実施する。また、地域と学生サークルのマッチング会を実施し、新たな取組やつながりのきっかけとする。 ・地域まちづくり協議会と学生サークルのマッチング会 ・地域の自慢事業大会(社協との連携) ・ホームページ等情報発信サポート ・地域まちづくり計画策定サポート	4	B
	②	地域福祉活動推進の支援(医療福祉を考える会議を中心とする課題共有とコーディネート) ボランティア活動の相談とコーディネート 地域サロン活動支援員によるサロンのコーディネート		社協	59,455千円	○地域福祉活動推進の支援 ・地域福祉活動(学区社協)支援、担当職員配置 ・学区社協活動支援 801回 ・草津市地域福祉活動計画策定委員会の開催 ○ボランティア活動の相談とコーディネート ・ボランティア需給調整 50件 ・フードバンク事業 ・福祉車両貸出事業 192件 ・電話訪問事業 227回 ・傾聴ボランティア連絡会の開催 10回 ○サロンのコーディネート ・新たに設置されたサロン:3団体 ・運営相談並びに情報提供:178件 ・地域サロン訪問:5件 ・需給調整:9件	51,892千円	○学区社協と密な連携をとり、活動推進に向けて支援する。また、社会福祉法人との施設連絡会を開催し、連携を図る。 ・地域福祉活動(学区社協)支援、担当職員配置 ・草津市地域福祉活動計画策定委員会開催 ○利用者とボランティア双方の拡大を図る ○地域サロンのない町内会に対し、「地域サロンしませんか」のチラシを配布し、周知・啓発を図る等、サロン活動の充実に向けた取組を行う。 ・運営相談並びに情報提供 ・地域サロンへの訪問 ・需給調整 ・新規サロンの設置	4	

資料A

資料B

草津市協働のまちづくり推進計画 令和3年度取組実績および令和4年度予定【中間支援組織】

資料4

※担当表記 事業団…草津市コミュニティ事業団、社協…草津市社会福祉協議会

推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当	令和3年度		令和4年度		事業評価 (1~5)	項目評価 (A~E)
					決算額	取組実績	予算額	取組予定		
D 人材育成事業の展開	①	人材育成講座の実施(まちづくり、環境、教養講座等)	人材育成講座を実施し、市民のまちづくり活動に対する関心を高め、市民活動に携わる市民を増やす。	事業団	400 千円	新たな団体や一般市民向けの市民活動経験者による講演等啓発型の講演会や、すでに活動を始めている団体向けのスキルを磨く実務的な講座を実施した。また、地域まちづくり協議会と立命館大学生を対象とした回を設け、新たな繋がりをつかきかけとなるよう努めた。 ・人とまちの未来をつくるカレッジ 8回 延べ339人 ・まち協と立命館学生サークルのマッチング会 ・キラリエ草津オープニング記念講演会	276 千円	カレッジとしては広く市民の方に参加いただける内容の4回を実施し、広報スキル等の実務講座は事業団の助成事業対象者を中心に実施する。 ・人とまちの未来をつくるカレッジ 4回 ・まち協と学生サークルのマッチング会 ・地域の好事例紹介事業(社協と連携) ・オンラインを活用した事業展開	4	B
	②	人材育成講座の実施(ボランティア、福祉教養大学等)ボランティアセンターの運営		社協	703 千円	○人材育成講座の実施 ・福祉教養大学の開催6回 受講生 延べ231人 ・福祉委員設置促進 市内福祉委員数 429人 ○ボランティアセンターの運営 ・登録団体 358団体 ・登録人数 5,980人	1,029 千円	○福祉教養大学受講生の定員を100人に設定し、少しでも多くの市民に受講してもらえるように啓発する。 ・福祉教養大学開催 ・福祉委員設置促進 ○ボランティアセンターの運営	4	
	③	まちづくり協議会向け研修の実施	事業団	6,438 千円	地域まちづくり協議会を対象に専門家による各種研修会・相談会を実施し、適正な組織運営のためのサポートに努めた。 また、具体的な取組や人材育成の手法を学ぶ機会として、全国規模のオンライン研修を集合研修として取り入れるなど、新たな研修機会の提供にも取り組んだ。 ・会計労務業務関係研修 延べ31学区 69人 ・Zoom体験会 3学区 11人 ・全国の取り組み事例研修 6学区 13人	6,439 千円	オンライン研修や外部研修の積極活用や市と連携した集合研修の実施を行う。各まちづくり協議会のニーズ把握を行い、ニーズに合わせた研修とする。 ・会計労務業務関係研修 ・地域の好事例紹介事業	3		
	④	医療福祉を考える会議を中心とする協議 近所力アップ講座の実施	社協	20,751 千円	○「医療福祉を考える会議」について、市内全学区で取り組めるよう、行政・地域包括支援センターと密に連携し、実施学区への継続支援および未実施学区への立ち上げ支援を行う。 ・生活支援体制整備事業(医療福祉を考える会議等への支援) ・生活支援コーディネーターの配置:14学区 ・医療福祉を考える会議実施学区:13学区 (本会議:延べ13回 打ち合わせ等回数:延べ507回) ○近所力アップ講座 実施なし	20,745 千円	○会議を実施している学区に対し、地域の役員との連携を密にしながら、会議開催に向けた支援をしていく。 未実施の学区へは、役員と開催に向けた協議の場を設ける。 ・生活支援体制整備事業(医療福祉を考える会議等への支援) ○近所力アップ講座の実施	3		
E まちづくり活動支援・資金助成	①	市民公益活動団体への立ち上げ資金の助成	団体の立ち上げや事業支援として助成金等による資金面でのサポートを行う。	事業団	1,279 千円	市民活動団体への助成金制度を実施運営した。立ち上げ支援枠と、ステップアップ枠の2部門により実施。立ち上げ支援においては助成金による資金サポートだけでなく、職員が寄り添い多角的にサポートを行う伴走型の支援を行った。 ・助成実績 立ち上げ支援 4団体 ステップアップ 2団体	2,217 千円	引き続き立ち上げ支援枠とステップアップ枠に分けて助成を行う。 また、新型コロナウイルス感染症の影響で事業実施できなかった団体を対象に再チャレンジ枠を設ける。 ・助成予定 立ち上げ支援 5団体 ステップアップ 2団体 コロナ再チャレンジ 2団体 ・スキルアップのための実務講座 ・交流会の実施	3	
	②	福祉活動団体への立ち上げおよび活動資金の助成(地域福祉、ボランティア、地域サロン等)		社協	6,866 千円	高齢者の見守り活動の推進や、介護予防と自立を促進するため、地域サロンに対し活動費を助成した。 ・地域サロン助成金:157サロン (内新規:3サロン)	7,158 千円	地域サロンが設置されていない町内会に向けて周知・啓発チラシを配布し、多くの地域サロンが立ち上がるよう支援する。 ・地域サロン助成金	3	
	③	まちづくり活動場所の提供	活動場所の提供や活動団体が集まる組織を運営することで、団体の活動を支援する。	事業団	0 千円	受託している指定管理施設を活用し、市民活動団体等に活動場所を提供した。また、キラリエ5階のフリースペース「協働ひろば」の利用促進を図り、市民活動団体に提供しながら、チャレンジ事業などに取り組んでもらった。 ・協働ひろば利用数 167件 683人 ・協働ひろばチャレンジ企画 12件 (うち6件はコロナ禍により中止) ・協働ひろばでのまちづくり相談対応	1,300 千円	市と連携し、協働ひろばの空間デザイン・機能の検討と実施を行うことで、協働ひろばの有効活用を図る。 ・市民公益活動団体による協働ひろば活用 ・協働ひろばでのまちづくり相談対応 ・協働ひろば空間デザイン・機能検討(市と連携)	3	
	④	ボランティアセンターの運営(再掲)		社協	120 (再掲) 千円	ボランティアセンターの運営を行った。 ・登録団体 358団体 ・登録人数 5,980人	75 (再掲) 千円	ボランティアセンターの運営を行う。	3	
	⑤	活動に必要な機器の貸出 まちづくり協議会への支援(運営・会計、情報発信等)	イベントや催し等に必要となる各種備品や設備等を貸し出し、活動機会を創出する支援を行う。	事業団	11,544 千円	○活動に必要な機器の貸出 ・まちづくり機器貸出件数 10件 ・環境緑化機器貸出件数 84件 ・まちづくり関連機器情報の収集発信 ○まちづくり協議会への支援 ・会計・税務・労務等サポート業務 ・情報ネットワーク環境業務 ・まち協HPサポート業務	14,259 千円	○活動に必要な機器の貸出 ・まちづくり機器貸出事業 ・まちづくり関連機器情報の収集発信 ○まちづくり協議会への支援 ・会計・税務・労務等サポート業務 ・情報ネットワーク環境業務 ・まち協HPサポート業務 ・地域まちセンPC整備業務	3	
	⑥	福祉機器、福祉車両の貸出 地域支え合い運送支援事業 学区社会福祉協議会等福祉団体への支援		社協	6,145 千円	○福祉機器、福祉車両の貸出 ・福祉車両貸出 送迎対応件数 175回 依頼者数 15人 送迎ボランティア数 11人 ・福祉機器の貸出 車いす貸出 139回 ○地域支え合い運送支援事業 5学区で実施 ○学区社会福祉協議会等福祉団体への支援 ・各種福祉関係団体等への事業助成 ・ボランティア団体活動助成 ・地域福祉活動への助成	9,415 千円	○福祉機器、福祉車両の貸出 ・福祉車両貸出 ・福祉機器の貸出 ○地域支え合い運送支援事業	3	

資料C

資料D

草津市協働のまちづくり推進計画 令和3年度取組実績および令和4年度予定【中間支援組織】

資料4

※担当表記 事業団…草津市コミュニティ事業団、社協…草津市社会福祉協議会

推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当	令和3年度		令和4年度		事業評価 (1~5)	項目評価 (A~E)
					決算額	取組実績	予算額	取組予定		
E まちづくり活動支援・ 資金助成	⑦	市民活動への表彰	活動者に対し表彰を行うことで、活動意欲を高めるとともに、活動の周知を図る。 共同募金運動を推進し、地域活動の助成の一助とする。	事業団	1,279 (再掲) 千円	市域・地域における長年の活動に対して表彰を行った。授賞団体には順次、えふえむ草津の番組に出演いただくことで活動のさらなる周知にも努めた。 尚、授賞団体への副賞(賞金)は草津商工会議所と連携のうえ市内の企業・事業所から集めた寄付を充当している。 ・イキイキ活動賞 申請数10 授賞数4 ・寄付いただいた企業・事業所 8社 12万円	2,217 (再掲) 千円	引き続き、草津商工会議所と連携し、寄付募集を行う。また、寄付いただいた企業・事業所と授賞団体の連携を図る。 ・ひとまちキラリ イキイキ活動賞の実施 ・企業・事業所寄付を依頼	3	B
	⑧	社会福祉功労者表彰 共同募金運動の推進		社協	328 千円	○社会福祉功労者表彰 38団体・個人に表彰状、感謝状を授与 ○共同募金運動の推進 一般募金実績 7,775,834円 (地域助成金として配分 4,203,597円)	328 千円	○社会福祉功労者表彰 11月に実施予定 ○共同募金運動の推進 一般募金目標額 10,000,000円	3	
F 中間支援組織同士の連 携協力	①	まちづくりイベントの共同開催 指定管理施設での連携事業 ホームページを活用した各種貸出機器情報の共同発信	中間支援組織同士で連携を図り、相互理解や中間支援力を高める。また、類似する事業は合同で行うなど、事業を効果的に実施する。	事業団 社協	0 千円	・ボランティアフェスティバルでの連携協力 ・ロクハ荘主催の「駆け付け講座」チラシを市内全地域サロンにて配布。多くの地域サロンで講座が実現した。 ・事業団のまちづくり機器と社協の福祉機器など、まちづくりに活用できる機材の情報を集約し、双方のHPで発信した。	0 千円	・キラリエマツリにて連携してブース出展 ・福祉教養大学とカレッジの一部を合同開催 ・ロクハ荘「駆け付け講座」の地域サロンへの周知協力 ・社協「移動フードバンク」のボックス設置に事業団指定管理施設が協力	3	B

【各施策評価】  
 5...計画以上の取組みを実施し、目標を大きく超える成果があった。  
 4...計画どおりの取組みにより、目標以上の成果があった。  
 3...計画どおりの取組みにより、成果があった。  
 2...取組みを行ったものの、思うほどの成果は得られなかった。  
 1...取組みまなかった、または、取り組むことができなかった

【推進項目ごと評価】  
 ・施策評価の平均点数が<sup>6</sup> 4.0以上5.0 → A  
 ・施策評価の平均点数が<sup>6</sup> 3.0以上4.0未満 → B  
 ・施策評価の平均点数が<sup>6</sup> 2.0以上3.0未満 → C  
 ・施策評価の平均点数が<sup>6</sup> 1.0以上2.0未満 → D  
 ※小数点第2位は四捨五入